

特集

土持ゲーリー法一先生を招き FD・SDを開催！！

平成30年12月26日（水）午後3時より、コモンズ教室にて、土持ゲーリー法一先生をお招きしたFD・SDを開催しました。「年越しFD」と銘打った今回のテーマは、「ICEモデル：アクティブラーニングの効果的なツール」。

講師の土持ゲーリー法一先生は、コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジと東京大学の両方から教育学の博士号を取得された先生です。帝京大学学修・研究支援センターのセンター長にして教授であり（※注）、また大学の外では「主体的学び研究所」の顧問としてご活躍されています。今まさに我が国を代表するアクティブ・ラーニングの研究者であり実践家です。

土持先生によれば、アクティブラーニング（土持先生のお考えでは「アクティブ」と「ラーニング」の間に中黒点が入れないとのこと）が浸透することと、授業時間外の学習時間数が増加は本来対になっていなければならないとのことですが、しかし日本の多くの大学および大学生はこれを実現できていないことが問題であり、それへの対処法の一つとして提唱されているのがICEモデルです。



▲土持先生による講演の様子

※ 土持先生は今年度より京都情報大学院大学に異動されています。

ICEモデルとは、I (ideas) 、C (connections) 、E (extensions) から成る概念であり、アルファベットはそれぞれ、基礎知識、つながり、応用を意味しています。これまでの教育は、(I) すなわち知識の注入に重きを置き過ぎであって、それらの知識をどう繋げるか (C) 、さらにはどう推論し仮説を立て、あるいは別の課題に適用させるか (E) という点が希薄であったというお話には、たしかにその通りと頷かずにはおれませんでした。

また、ICEモデルは、上述の考え方に対応したルーブリックによる評価と連動させることで高い教育効果を発揮します。詳しくは土持先生の著書、『「主体的学び」につなげる評価と学習方法：カナダで実践されるICEモデル』、著書に『社会で通用する持続可能なアクティブラーニング：ICEモデルが大学と社会をつなぐ』などをご覧頂きたいところですが、概して、授業を設計する際に、履修後に目指す姿からその内容と評価方法とを定めることの大切さを改めて実感させられました。

当日は、本学の教職員はもとより、学外からたくさんのお客さんがありました。その数およそ74人。学修支援部門が主催してきたこれまでのFD・SDの中で、最多の参加者数となりました。そして、土持先生の興味深いご講演の後には、引き続き少人数が残って土持先生を囲む密な討論会が開かれ、活発な議論が展開されました。このことから、アクティブラーニングの実現に対する関心の高さを実感しました。



▲土持先生を囲む
討論会の様子

講座カフェ@acacore

その1 TOEIC対策講座

アカデミック・コアでは、学生スタッフによるTOEIC対策講座を2回開催しました。第1弾（4月17・18日）では杉本佐和さん（応用生物科学部2年）、第2弾（6月13日）はカン ソヨンさん（自然科学技術研究科修士2年）が講師となり、TOEIC勉強に役立つコツを紹介しました。

杉本さんのイベントでは、TOEIC初心者を対象に、短期間で点数UPが見込める解き方のコツを紹介しました。講師の杉本さんによれば、TOEICは難しいと思われがちですが、勉強した分点数につながるので、コツを掴む為に反復演習を積み重ねる大切さをイベントで感じてもらうことを意識したとのことでした。

カンさんは、留学生である自身の経験やTOEICを多く受験した経験を踏まえ、TOEICの重要性や勉強のポイントについてお話されていました。

イベントに参加した学生からは、「TOEICに対する不安が軽減した。」「コツのポイントが分かりやすく実践してみたいと思う。」など、TOEICに関して前向きな意見を多くいただきました。



▲勉強のコツを紹介する
杉本さん・カンさん

その2 ワンランク上のレポート講座

レポートを書き慣れていない1回生を主な対象とし、レポート講座を開催しました。第1弾（4月25日）では酒井七菜さん（地域科学部2年）、第2弾では鈴木迪博さん（工学部4年）が講師となり、レポート作成のコツを紹介しました。

酒井さんのイベントでは、レポートの概要や基本的なレポートの書き方を指南することを目的として、レポートと作文の違いや、骨組みの作り方を中心に紹介しました。イベントの途中で、実際にテーマを提示してレポートの骨組みを作る時間を設けたことにより、レポートの作りかたを具体的にイメージできたようです。

鈴木さんは、レポートを作成する上で必要な資料の集め方や、その情報の使い方について紹介しました。収集した情報をどう活用しレポートを作成すればよいかを、学生スタッフが過去に講義で提出したレポートを使い説明しました。参加者からは、「理解がより深まった。」との意見を頂きました。



▲イベント告知ポスター

▲スライドを使ってレポートの書き方を説明する酒井さん・鈴木さん

その3 韓国語講習

韓国からの留学生であり、学生スタッフのカン ソヨンさんが2019年6月27日にオリジナルイベント『韓国語講習』を開催しました。イベントでは韓国語の文法や、韓国語の魅力についてお話しされました。また、語学学習全般についても触れ、留学生という視点から、グローバル時代における語学力の重要性についてもお話しされました。

【イベントの目標】

グローバル化が進んだ現在、英語をはじめとする外国語の語学力の重要性が増しています。しかし、社会人になっていざ語学学習を始めようとする仕事などでなかなか学習時間を取ることができません。一方で大学生は比較的時間に余裕があり、講義などのサポートを受けて語学学習を行いやすい環境にあります。また、大学生は、留学という形で現地で語学学習を行うこともできます。

『韓国語講習』では、以上のような大学生ならではの語学学習における利点を理解し、参加者に実際に利用していただくことを目標としたそうです。



▲ イベント告知ポスター



▲ スライドやホワイトボードを利用して韓国語の魅力について語るカンさん

コア通信

平成29年度より、学生スタッフ主体で発行してきたアカデミック・コア通信は令和元年10月で45号を迎えました！

アカデミック・コア通信

Vol. 29

コア利用者が第2位に入賞しました！
eco検定とは、環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会づくり」の促進を目指す検定のことです。
そのeco検定の合計点数を日本全国で競う“eco-MASTER GRAND PRIX 2018”学生部門で岐阜大学生3人組で第2位に入賞しました。



表彰式

彼らはアカデミック・コアの学習室で勉強会をおこない、見事このような結果を収めました。おめでとうございます！
学習室ではこのような勉強会から面接準備までさまざまな場所として有意義に使えます。いつでもだれでもご利用できるので、ぜひご利用ください！

日常からの学びを発信

学びの広場 環境問題について考えよう

みなさん、環境問題ときいて何を思い浮かべますか？
急激な地球温暖化、酸性雨、砂漠化、ごみの問題、海面の上昇、紫外線増加、有害物質による空気汚染……。とてもさまざまな問題を私たちは今、抱えています。私たち人間が原因の環境問題は少なくありません。これを機に、環境問題を少し身近に考えてみませんか？

TED Talks



Sean Gourley
TED Fellow

平白（水曜日を除く）12時から約1時間。英語音声と日本語字幕付を上映中！！

Sean Gourley 『戦争の物理学』

おすすめ理由：
彼らは悲惨な戦争について解き明かそうと、さまざまなニュースやレポート、新聞から130を超える情報を集めます。そのデータをもとに、攻撃の規模、被害の大きさを数学的に一貫した分布を導き出し驚愕の結果を見つけます。戦争と向き合える見ごたえのあるスピーチです。

編集後記

アカデミック・コアでは学習に必要な道具もたくさん貸し出しています。ぜひご利用ください。
担当者：酒井七菜
平成30年11月発行

スタッフ紹介

New Staff 新しい学生スタッフが紹介されました！

CHEN SHUO
（中国）

私の趣味は、読書です。読んだ本を友達に紹介するのが好きです。読書を通して新しい知識やアイデアを学んでいます。

山田 勇希
（福岡）

私の趣味は、読書です。読んだ本を友達に紹介するのが好きです。読書を通して新しい知識やアイデアを学んでいます。

HAN XINTONG
（中国）

私の趣味は、読書です。読んだ本を友達に紹介するのが好きです。読書を通して新しい知識やアイデアを学んでいます。

TED Talks

Sean Gourley
『戦争の物理学』

おすすめ理由：
彼らは悲惨な戦争について解き明かそうと、さまざまなニュースやレポート、新聞から130を超える情報を集めます。そのデータをもとに、攻撃の規模、被害の大きさを数学的に一貫した分布を導き出し驚愕の結果を見つけます。戦争と向き合える見ごたえのあるスピーチです。

アカデミック・コア通信 Vol. 29

平成から令和へ

秋の前編って何？

David R. Liu
『The Art of Learning』

おすすめ理由：
彼は、人生の目的を達成するための方法を伝えています。その方法を学べば、人生はもっと楽しくなります。

アカデミック・コア通信 最新号

秋の前編って何？

David R. Liu
『The Art of Learning』

おすすめ理由：
彼は、人生の目的を達成するための方法を伝えています。その方法を学べば、人生はもっと楽しくなります。

発行 2019年12月1日
作成 学修支援部門メディア教育担当
協力 アカデミック・コア学生スタッフ（堀口 カン 大滝 坂下 鈴木 平塚 河合 酒井 杉本）
問い合わせ先 全学共通教育事務室学修指導係 田草川（058-293-2167）